

『Ichigo Keywords』シリーズ

朝日文庫編集部／編 朝日新聞出版



マイメロディの『論語』
(123.83/㊦)

サンリオキャラクターと一緒に楽しく古典や哲学に触れられるシリーズです。
ハローキティ×『ニーチェ』、キキ&ララ×『幸福論』、シナモンロール×『エチカ』など、好きなキャラの本から読むもよし、気になる古典からでもよし！あなたのお好きな1冊を探してみてください。

『ラブオールプレー』シリーズ

小瀬木麻美／[著] ポプラ社



ラブオールプレー [1]
(F/㊦/1)

2022年にテレビアニメにもなったこちらのシリーズ。
主人公・水嶋亮は、中学時代バドミントンの実力はそこそこだったのですが、突然スカウトを受け、名門・横浜湊高校バドミントン部に入部します。そこで出会った個性豊かなチームメイトたちと切磋琢磨し、高みを目指していく姿が爽やかな青春バドミントン小説です。

ティーンズコーナー

新 着 図 書

2023年2月～2023年5月受入分

2023年3月に東部市民センター図書室のティーンズ文庫が新しくなりました。

今回はその中から、おすすめのシリーズをピックアップしてご紹介します！



ご紹介したほかにも、新しく入ったシリーズが多数！

★新着シリーズ・タイトル（一例）★

『ようこそ実力至上主義の教室へ [1年生編]』

『文豪ストレイドッグス』『カブキブ』

『春夏秋冬代行者』『Re:ゼロから始める異世界生活』

左下のQRコードからティーンズコーナー新着図書リストに飛べます。予約もできるのでぜひご利用ください！

今回は、中央館の新着図書から、暑い夏に背筋がひやりとする本をご紹介します。
『完本・妖異博物館』
(388.1㊦)です。
河童やろくろ首、一つ目小僧などから人語を話す猫の化物、未確認生物に竜宮城、さまざまな幽霊話まで、日本全国でおなじみの妖怪奇譚・幽霊譚を取り上げています。
文庫で647ページと分厚いですが、巻末には妖異の名前や人名、書名で引ける索引があり、気になる妖怪や怪異話だけ読むこともできるので、おすすめの1冊です。

(溝)

連載コラム
本好きさんになろう！

編集・発行 小牧市中央図書館

TEENS Libra

ティーンズ ライブラ 2023年夏号(No.34)

夏の映え本大集合★

見た目だって大事です。
思わず手に取りたくなっちゃう、
夏に「映える」本あつめました。

こまき電子図書館

ティーンズ
絶賛配信中！



のぞいてみてね！

カラフルな表紙が目を引くこの本は、色とりどりの絵とことばが詰まった、おーなり由子さんのエッセイ集です。優しさにあふれる文章と淡いタッチの色の世界。夏にぴったりの「夏のおくりもの」「夏の庭」「プールの水色」など、夏のひとときを切り取った鮮やかな絵とお話も満載です。読んでみると、新しい好きな色が見つかるかもしれません。



きれいな色とことば おーなり由子／絵と文 講談社 914.6/㊦



一球入魂!一音入魂!

オザワ部長／著

学研プラス 764.6/㊦

夏といえば甲子園！毎年高校球児の熱い戦いに心躍らせる方も多いのではないのでしょうか。でも甲子園で熱いのは球児達だけじゃありません！

この本は、野球部と、甲子園のアルプススタンドから常に全力でエールを送り続けてきた吹奏楽部に焦点を当てたドキュメンタリーです。

野球部と吹奏楽部の絆、甲子園で起こる奇跡的なドラマと、「吹奏楽の甲子園」全日本吹奏楽コンクールの全国大会を目指す中で起きる苦難や涙。両部の諦めず挑む姿に元気をもらえる1冊です。

夏に泳ぐ緑のクジラ

村上しいこ／作

小学館 K913/㊦

「シャツ、シャツ、シャツ」不気味に笑う土の妖精の“つちんこ”と、中三の夏に祖母の住む離島にすてられに来たお京のひと夏の物語です。

人の孤独が好物のつちんこが、小さな島で過ごす世代を越えた人たちとの関わりの中で何を気付かせてくれるのでしょうか？

これもおすすめ!

眺望絶佳の 打ち上げ花火

金武武／著 日本煙火協会／監修
玄光社 575.98/㊦

映えといえば花火！美しい写真と共に、花火について詳しく解説している本です。



金魚養画場

深堀隆介／著

文芸社 723.1/㊦

木桶の中を群れなし泳ぐ金魚たち。もしや夏祭りの戦利品？だとすれば、かなりの凄腕…。

実は、この金魚たちだけが絵なのです。絵を描いたアクリル樹脂を何層も重ねる作者の深堀隆介さんオリジナルの画法はキャンバスを選びません。土に、ガラスに、床に、壁にと自在に泳ぐ金魚の優美さに、時を忘れて見入ってしまいます。

「好き」の因数分解

最果タヒ／著

リトルモア 914.6/㊦

あなたの好きなものはなんですか？好きな食べもの、好きなドラマ、好きな芸能人…。好きなものを語るときって幸せな気持ちになりますよね。

この本は、詩人である著者が好きなものについて、なぜ自分はそれが好きなのか、とことん向き合って掘り下げたエッセイ集です。ミッフィー、マックグリドル、UFOキャッチャーなど、身近なものへの愛を、詩人ならではの言語化センスで語りつくします。共感したり、そんな視点があるのかとちょっと可笑しかったり。楽しく読める本です。きっとあなたも、自分の「好き」を因数分解してみたくなるはず…。

かき氷 天然氷をつくる 細島雅代／写真 伊地知英信／文 岩崎書店 K588

暑い夏に食べるかき氷、最高ですよ。この本は、埼玉県の秩父の山あいでは伝統的な「天然氷」づくりに取り組む阿左美冷蔵さんに密着したフォトドキュメントです。真冬の寒さの中、池にひいた天然の湧水が凍るまでの間、手作業で何度も丁寧にごみをとりのぞく様子は、まさに「氷を育てる」という表現がぴったり。丹念につくられた天然氷は削るとふわふわで、食べても頭がキーンとならないそうです。眺めているだけでも涼しさが伝わってくる一冊です。



名古屋16話

吉川トリコ／著

ポプラ社 F/㊦

この本は、名古屋市の16区にちなんだ16話+中部地方の都市が舞台の8話を収録した、名古屋在住の吉川トリコさんの短編集です。

港区のコンビニで働く青年、緑区のSKE48を目指す女子、西区の某モールにいる恋人達…同じ地域に暮らす年齢や立場も様々な人々の日常譚は、少し切なかったり、ラストで驚く話もあり名称変更したものもありますが、全話に漂う今も変わらない名古屋（&中部地方）の空気をぜひ感じてみてください。

地図コラム「名古屋16話マップ」もお薦めです。一言だけ「小牧市」も出てきますよ！

空色のクリーム

ソーダRecipe

tsunekawa／著

ワニブックス
596.7/㊦

幼いころの思い出のクリームソーダはメロン色。爽やかな炭酸の泡と白いアイスクリームが緑に映えて、一粒のサクランボをいつ食べようか、なんて迷う時間が楽しいひとときでした。空色になっても、クリームソーダの持つ美味しさ、涼しさ、懐かしさは変わらない、なんとも楽しい1冊です。

カラフルなクリームソーダレシピを眺めていると、今度は誰かの思い出を彩るクリームソーダを作ってみたくなるのです。

■紹介作品(50音順)■

- 一球入魂！一音入魂！
- かき氷 天然氷をつくる
- きれいな色とことば
- 金魚養画場
- 「好き」の因数分解
- 空色のクリームソーダ Recipe
- 眺望絶佳の打ち上げ花火
- 名古屋16話

2023
夏